

教宣 せぶん

配達された2通の手紙

自宅に2通の封書が届きました。1通はミレアホールディングスからの株主総会の「ご案内」でした。時節柄か、「議決権を行使されない場合は……」という文章がやけに強調されていると感じましたが、「6月25日」のために購入したミレア株です。しっかり当日、会場で議決権を行使しようと思います。

また1通は財産訴訟における準備書面(6)でした。分裂からの経緯や私たちの「主張」を読むにつけ、あらためてうなずいたところでした。社員制度の廃止という、これ以上ない経営の攻撃に対して、こういう事態に備えて営々として蓄えられてきた組合財産が、まったく有効に使われることなく、外勤社員が存在しなくなる「被告」が所有していることに、あらためて理不尽さを覚えます。率直に「おかしい」と思います。やはり闘争資金である以上、本来の目的で使われるべきです。

同じ感情を代理店になった多くの方が持っています。私のまわりには、全損保日勤外勤支部の財産が「被告」の財産になっていることに「納得できない」と言っている、全損保から離れていった仲間も数多くいます。彼らは「もう当事者でないのどうすることもできないが、財産訴訟もがんばってくれ」と言ってくれます。一番高い関心を「財産訴訟」に示してくれていると言っても過言ではありません。正義が勝つということこそを是非示したいと思います。

株主総会にむけたたたかいのスケジュールも決まりつつあります。財産訴訟の口頭弁論も再開します。私たちの3つのたたかいはいま新たな局面を迎えようとしています。株主総会にむけたたたかいをいかに世論に響かせられたのかが、きっと長い目で見たときの勝利の「ポイント」になるはずです。25日にむかって果敢にたたかいぬきましょう。ピラは目標の50万枚を超え、さらにその勢いを加速させています。一人ひとりの踏ん張りがきっと展望を切り拓く力になるはずです。配達された2通の手紙に、あらためて闘志を掻き立てられたところです。